



株式会社 岡山和気ヤクルト工場

贈呈理由 生産プロセス用冷却水蓄熱システムを採用し、ピーク電力を削減



工場外観

株式会社岡山和気ヤクルト工場は、2014年11月の生産開始以来、「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します」という企業理念の下、地域とともに発展する企業を目指し日々操業している。

生産品目は、乳製品乳酸菌飲料である「Newヤクルト」、「ヤクルト400LT」、「ヤクルトAce」の3品で、一日約200万本生産し、主に中四国から近畿エリアに出荷している。

当工場は徹底した品質管理に基く製品づくりを進めており、その過程においてはタンクローリーによって運ばれてきた原料液、また原料水の保冷管理が必須である。

このため、生産プロセス用冷却水(以下「冷却水」)の安定確保が欠かせないが、そのためには冷凍機の高稼働とそれに伴うピーク電力および総使用電力の

増加が懸念された。そこで、生産プロセス用冷却水蓄熱システムを導入し、夜間に冷凍機を稼働させることで、冷却水の安定確保とピーク電力の削減および使用電力の平準化を図った。

また、この冷凍機では、高効率なブライン方式の省エネシステムを採用しており、分割されたモジュールタイプにすることで機械故障時のリスクを分散させる等の取り組みを行っている。



空気熱源ヒートポンプチラー

今後も当工場は、ヤクルトグループ統一のコーポレートスローガンである「人も地球も健康に」を掲げ、徹底した品質管理と効率的なエネルギー活用に積極的に取り組んでいく方針である。



生産プロセス用冷却水蓄熱システム

株式会社岡山和気ヤクルト工場

所在地: 岡山県和気郡和気町田原下字高柳269
 建築設計: 東急建設(株)
 建築施工: 東急建設(株)
 蓄熱設備設計: 菱熱工業(株)
 蓄熱設備施工: 菱熱工業(株)
 延床面積: 13,665.16㎡
 竣工: 2014年6月(新設)

■蓄熱設備概要

生産プロセス用冷却水蓄熱システム
 熱源機: 空気熱源ヒートポンプチラー
 451.2kW×1台(東芝キャリア)
 蓄熱槽: 94.66㎡(スタティック)